



主催：一般社団法人レジリエンス協会

後援：一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会

✉ : info@esilience-japan.org

こころの応急措置でレジリエンスを高める

サイコロジカル・ファーストエイド 体験ワークショップ

日時： 2017年10月19日（木） 10:00～12:30（9:45開場）

場所： 東京臨海広域防災公園（そなえりあ）2Fレクチャールーム
東京都江東区有明3丁目8番35号
りんかい線 国際展示場駅、 ゆりかもめ 有明駅より 徒歩3分

定員： 50名

参加： 無料

お申込み：<http://www.kokuchpro.com/event/rrcj20171019am/>
または、info@resilience-japan.org まで

サイコロジカル・ファーストエイドとは Psychological First Aid: 心理的応急措置

WHO（世界保健機関）などが推進している、紛争地や被災地での、**人道的、支援的かつ实际的**な活動です。ストレスの強い出来事を経験した人たちに、専門家でなくても援助ができるように、ガイドラインが公開されています。

PFAを実践する人

- 自治体職員、企業BCP担当者、災害ボランティアに興味のある方、地域防災（共助）に取り組まれる方、企業のメンタルヘルス担当者、その他人の役に立ちたいと思う方にお勧めいたします。

実践すること

- 「見る」「聞く」「つなぐ」の3原則を、生きるための基本的ニーズの把握、必要な情報の提供、専門家への橋渡しなどを、相手を尊重し、周囲と協調しながら行います。
- ワークショップでは、レクチャに加えシナリオに基づいたグループワークを行います。



講師紹介

サニー神谷

一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事
元国際レスキュー隊員

日本とアメリカの災害現場での経験をもとに、テロ対策や防災教育を幅広く展開
1500名以上の救命経験、グローバルでの経験に基づく、実践的で最新の方法を分かりやすく伝えています。

深谷純子

ふかや すみこ
一般社団法人レジリエンス協会 常務理事
同・ヒューマンレジリエンス研究会座長
株式会社深谷レジリエンス研究所 代表



地域と共に、被災時の社会貢献を考える

帰宅困難者受け入れ訓練（入門編）

日時： 2017年10月19日（木） 13:30～16:30（13:00開場）

場所： 東京臨海広域防災公園（そなえりあ）2フレクチャールーム
東京都江東区有明3丁目8番35号
りんかい線 国際展示場駅、 ゆりかもめ 有明駅より 徒歩3分

定員： 40名

参加： 無料

お申込み：http://www.kokuchpro.com/event/rrcj20171019_p.m/
または、info@resilience-japan.org まで

訓練の目的

- 被災時に想定される帰宅困難者のために、一時滞在施設として自社施設の開放を考えるための体験訓練です。
- 疑似体験やグループ討議を通じて、自社対策を考える機会を提供いたします。

訓練の特徴

- 自分で考えて、自分で答えを見つける、アクティブラーニング形式をとっています。
- 事前に自社の状況から、どんな事態や役割があるのか考えて参加されると効果的です。
- グループ分けのため、申込み時にアンケートにお答えください。



ファシリテータ紹介

上田悦久

一般社団法人レジリエンス協会 理事
同・演習研究会座長
・BCP初動対応訓練（地震）（風水害）
・HUG（避難所運営ゲーム）など、
多数の訓練企画・ファシリテーターを担当

田中弘明

一般社団法人レジリエンス協会 監事
同・演習研究会副座長
・BCP初動対応訓練（地震）（風水害）
・HUG（避難所運営ゲーム）など、
訓練運営、ファシリテーターを担当

その他支援のファシリテータ

終了後、懇親会（参加費5000円程度）もあります。